



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：島守佳菜子（2年次）

みなさん、お久しぶりです。日記を書くのは春ぶりです。

あの時はまだ1年目研修医のみんなは来たばかりの頃でしたが、今では大分慣れてきたように思います。

今はクリニカルクラークシップの学生さんたちも沢山来ていて、とても賑やかですね！

さて、現在私は小児科で研修させて頂いています。

その前は耳鼻咽喉科でお世話になっていました。今回はその耳鼻科研修のことを少しお話ししたいと思います。

まず、耳鼻科で研修をする研修医は今まであまりいなかったようで、耳鼻科研修中はどこに行っても驚かれました。これとって理由はなかったのですが…。救急外来で耳鼻科領域の疾患に頻回に出会うこと、咽喉頭の解剖に興味があったこと、細々とした手技が好きなこと…といった理由で研修させて頂きました。

耳鼻科研修は基本的に外来で、週一回手術があります。

一か月の短い期間でしたが、研修を通して救外で出来る診察手技が増えたと思います。

例えば、間接喉頭鏡の使い方を覚えました。うまく見えない人もいるのですが、喉頭蓋を観察できるようになったことは私にとって大きな収穫でした。

また、フレンチェル眼鏡を使用し眼振を見たり、耳鏡や額帯鏡の使い方も覚えました。他にも様々なことを勉強させて頂きました。

耳鼻科の宮腰先生はじめ、外来の看護師さんや事務の方、病棟のスタッフの皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今まわっている小児科でも頑張りたいと思います(^^)

写真は近所に咲いていた紫陽花です。

とても綺麗です*



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。